



た い こ 太古にふれよう



せいめいのれきし 改訂版

バージニア・リー・バートン 文・絵 いしい ももこ 訳岩波書店 Eーバ

5億年おくねんもまえ、この時代じだいにあらわれた生物せいぶつの主なものは、藻類そうるいと、背せぼねをもたない小さな動物ちい どうぶつたちでした。2億年おくねんくらいまえには、はちゅう類るいのなかまの恐竜きょうりゅうがあらわれます。草食そうしょくの恐竜きょうりゅうのなかには、ものすごく大きおおくなったものや、肉食にくしょくのなかまにたべられないように、板状いたじょうの骨ほねを背せ中なかにもつものもあらわれました。

きょうりゅうがすわっていた

市川 宣子 作 矢吹 申彦 絵 福音館書店 Eーヤ

パパはあかちゃんがうまれるのをひとり、マンションでまっていた。あるあさ、だれかが10かいのまどをこんこんって、そとからたたきました。パパがまどからのぞくと、こうさてんにきょうりゅうがすわっています。きょうりゅうがいくらまってもうごかないので、パパはゆうきをだしてかいしゃにいて、かえりにキャベツを30こかってかえりました。

きょうりゅうたち

ペギー・パリッシュ 文 アーノルド・ローベル 絵 杉浦 宏 訳編 文化出版局 Eーロ

ちきゅうができてから43億ねん年もたってから、きょうりゅうたちがちきゅう上じょうにすがたを見せるようになりました。きょうりゅうたちがすんでいたじ代ねんいは1億せん5千万ねん年つづきました。きょうりゅうは、はじめのころあまり大きおおなからだをしたものはいませんでした。やがて大きおおなものやおそろしいものがでてきました。

バーナムの骨

トレイシー・E・ファーン 文 ボリス・クリコフ 絵 片岡 しのぶ 訳 光村教育図書 Eーク

バーナムは、少年時代から太古の地球に思いをはせていました。大学で古生物学を学んだバーナムは「化石ハントの天才」とほめちぎられるほどに、骨を見つけるのがじょうずでした。トリケラトプスのほぼ完全な頭蓋骨、長いくびをもつ巨大な恐竜、4トン半の哺乳動物などの化石を発見します。

大きなたまご

オリバー・バターワース 作 松岡 享子 訳 岩波書店 933-バ

トウイチェル家にはニワトリ小屋がありました。ある朝のこと、ネイトが小屋をのぞいてみると、一つで巣がいっぱいになってしまうほどの大きなたまごがありました。夏休みのあいだじゅう、ネイトとめんどりはたまごの世話をします。六週間たったころ、巣の中にリスくらいの大きさの、ちょっとトカゲに似た生きものがふといっぽをゆっくり動かしていました。

ぼくは恐竜探検家！

小林 快次 著 講談社 457-コ

ある日、中学校に上がったぼくは、入部した理科クラブの吉澤先生から「化石を掘りに行ってみないか？」と言葉をかけられます。そこでぼくは発掘に行くことにしました。長い時間をかけて化石となった生物たちを、石のなかから取りだすのです。見た目にはなんの変哲もない石でも、それは古代の地層のかけらなのだと言います。

地底旅行

ジュール・ヴェルヌ 作 平岡 敦 訳 岩波書店 953-ヴ

早くに両親を亡くしたアクセルは、叔父のもとで研究助手を務めていました。古文書の謎を解いたアクセルは、変わり者の叔父と旅のガイドのハンスと、地球の中心を目指します。3人は火山の火口の底へおりていきました。どんどん地下へ進んでいくと、そこには海が広がり、キノコの森など、思いがけない光景に目を引きつけられます。そして、足もとにはマストドンやディノテリウムの骨が散らばっていました。